

# 全国英語教育学会 平成26年度第1回理事会議事録

■日 時 平成26年3月2日(日) 13:00～17:40

■場 所 筑波大学東京キャンパス文京校舎 3F 337会議室

## ■出席者

卯城祐司(会長), 萬谷隆一(副会長・北海道), 早瀬光秋(副会長・中部), 石塚博規(理事・北海道), 松沢伸二(理事・関甲信), 大井恭子(理事・関甲信, 紀要編集委員長・関甲信), 紺渡弘幸(理事・中部), 大和知史(理事・関西), 高橋俊章(理事・中国), 飯島睦美(理事・中国), 伊東治巳(理事・四国, 徳島研究大会実行委員長), 大坪喜子(理事・九州), 島谷浩(理事・九州), 板垣信哉(顧問・理事代理・東北)

<以下, オブザーバー>

鈴木智己(幹事・北海道), 金子淳(幹事・東北), 横田秀樹(幹事・中部), 橋本健一(幹事・関西), 猫田和明(幹事・中国), 山森直人(幹事・四国, 徳島研究大会事務局長), 大下晴美(幹事・九州), 清水裕子(関西英語教育学会副会長・理事代理・関西), 斉田智里(第40回記念誌編集委員長・関甲信), 猫田英伸(紀要編集副委員長・中国), 廣森友人(事務局長・関甲信), 田中洋也(事務局・北海道), 深澤真(事務局・関甲信), 阿部真理子(事務局・関甲信), 土方裕子(事務局・関甲信), 清水遥(事務局・関甲信), 浦野研(事務局・中部), 前田啓朗(事務局・中国)

議題に先立ち, 会長からの挨拶と事務局長からの配布資料確認が行われた。続いて, 議題に沿って審議が行われた。

- ・ 資料訂正: 2014(平成26)年度全国英語教育学会地区学会情報(資料3)において, 関西英語教育学会の事務局長は大和知史先生(神戸大学)である旨が報告された。

## ■議 題

### 1) 平成26年度新役員(案)

- ・ 廣森事務局長より平成26年度新役員の提案があり, 原案通り了承された。

### 2) 第40回徳島研究大会実施要綱(案)

- ・ 伊東大会実行委員長より, 大会要項(案)に沿って, 第40回徳島研究大会についての説明があった。また, 以下の項目に関しては, 補足説明および協力依頼がなされた。
- ・ 学会中は両日とも, 9時20分に午前中の発表者とタイムキーパーが集合し, 12時50分に午後の発表者とタイムキーパーが集合する。

- プログラムの副題は「—（副題）—」のように、両側ダッシュで統一する。
- 関東甲信越英語教育学会の課題研究フォーラムのタイトルは、「中学校英語の定着—卒業までに主語把握はどのくらい出来ているか—」となる。
- 徳島大学の駐車場は使えないが、近隣の附属小学校グラウンドや城東高校（徒歩圏内）に駐車場を確保してある。学生アルバイトが道案内に立つ予定になっている。
- プログラムを印刷業者へ送るのが4月中旬になるため、課題研究フォーラムの発表者が3月中に確定する場合は早めに連絡をお願いしたい。
- 訂正後にプログラムが各地区事務局に送付されるので、案内とチラシポスターに掲載されるタイトルや登壇者名の確認をお願いしたい。
- 大会ウェブページを4月から本格的に立ち上げ、担当フォーラムの概要（予稿集とは異なるもの）を掲載する予定であるため、各地区学会に執筆の協力をお願いしたい。
- ・ 託児所は大学内に設けるのが良いか、会場近隣にある民間の託児施設を紹介した方が良いのかに関する意見交換がなされ、徳島大会の実行委員会では業者を選定している最中であるとの回答があった。
- ・ 会員と非会員の参加費に差をつけるべき、また事前申込を徹底して当日の受付の負担を軽減すべきとの意見が出され、大会参加費に関する意見交換が行われた。振込による事前申込を推進し、会員に特典を与えるため、参加費は以下とすることで了承された。
- 非会員：事前申込 4500円 / 当日申込 5000円
- 一般会員：事前申込 3500円 / 当日申込 5000円
- 学生会員：事前申込 2000円 / 当日申込 3000円
- ・ 学生/院生委員会主催のフォーラムについては、大会要項に記載して認知度を上げると良いのではないかという提案があり、要項に「第2回 大学生/大学院生フォーラム」の情報を記載することで了承された。
- ・ 昼休みの時間帯や協賛企業の展示場所は課題となっているが、この点については継続審議とすることで了承された。
- ・ 中高の先生方により多く参加していただくために、参加申込の時期を遅らせてはどうかという意見が出されたが、準備が迫っていることから徳島大会では原案通りの締切日とし、第41回大会以降の締切日の設定を継続審議とすることで了承された。
- ・ 協賛企業からの問い合わせ先の窓口を一本化する必要性が確認された。また、協賛企業の全国大会担当地区学会ごとの協賛費を参考にし、協賛費を値上げするか継続審議とすることが了承された。

### 3) 平成25年度決算（案）

- ・ 廣森事務局長から収支報告（資料5）があり、原案どおり承認された。

#### 4) 平成26年度予算（案）

- ・ 廣森事務局長から平成26年度の予算案（資料6）が提案され、原案どおり承認された。

#### 5) 第41回熊本研究大会（経過報告）

- ・ 理事の島谷先生から資料7を基に、第41回熊本研究大会の実施案に関する説明があった。
- ・ 日程案に関して意見交換が行われた。会場校の夏季休暇明けすぐの実施となる可能性が高いが、中高の先生方の参加も考えると週末実施（2015年8月22日（土）、23日（日））が望ましく、協賛企業からの荷物搬入方法も含め、日程案を継続審議とすることです承された。
- ・ 大会実行委員会役員名簿にある「2015年度 全国英語教育学会会長」は、現時点では未定であると訂正された。
- ・ 理事の松沢先生より、第42回全国英語教育学会関東研究大会は、2016年8月6日（土）および7日（日）に青山学院大学での開催を予定しているとの説明があった。

#### 6) 全国英語教育学会第40回記念誌（経過報告）

- ・ 齊田記念誌編集委員長より、全国英語教育学会第40回記念誌の準備状況に関して説明がなされた。
- ・ 誌名は「全国英語教育学会第40回研究大会記念特別誌」へ変更する。また、名称変更に伴い、7月頃に発送予定であるとの説明があった。
- ・ 非会員への配布方法に関して意見交換が行われた。非会員には研究大会当日に有料で配布すること、金額についてはARELEの販売価格（2600円）などを参考にし、適切な金額を編集委員会で決定することです承された。
- ・ 会員へは郵送するが、いつの時点での会員を「会員」と認めるかについて意見交換が行われた。2014年度の会費納入状況は大会時には不明であるため、2013年度の会員名簿に基づいて行うことにし、2014年度の新会員には、大会当日に無料で渡すことが提案され、了承された。

#### 7) 全国英語教育学会紀要ARELE 25号（経過報告）

- ・ 大井紀要編集委員長より、資料9に基づいてARELE 25号の投稿・採択状況に関して説明があった。また、編集委員および査読委員に実施された評価基準に関するアンケートの集計結果が報告された。
- ・ 査読と採択に関する3つの基準を考慮し、25号では22編を採択したと報告された。
- ・ ARELEでは質の保証が重要であり、「採択率」「採択本数」の基準を撤廃することが提案された。また、評価の各項目の刻みを少なくし、査読者間のブレを小さくすることについて提案された。これらに対して、毎年基準が安定しているかどうか、カッティングポイントが妥当かどうか、継続審議とすることです承された。

- ・ 査読者間の不一致を調整することは重要であるが、編集委員会執行部が入って最終判断をすると匿名性が保たれないという懸念があるため、第三者に再査読をお願いすることも含めて継続審議とすることで了承された。
- ・ 研究論文と実践報告では査読基準を独立させ、学会HPで査読基準を公表する提案がなされた。この件については、各項目の表現方法を変更する必要性も含めて継続審議していくことで了承された。
- ・ 査読者からのコメントのあり方に関して意見交換が行われた。

#### 8) 全国英語教育学会・学会賞（案）

- ・ 大井紀要編集委員長より、学術奨励賞と教育奨励賞の候補についての説明があり、原案どおり了承された。

#### 9) 次期会長選挙実施（案）

- ・ 廣森事務局長より次期会長選挙の手続きが提案され（資料10）、細則通りに実施されることで了承された。

#### 10) 研修会の開催について（実施報告）

- ・ 事務局の田中先生より、資料11に基づいて3月1日に開催された第1回英語教育セミナーの実施報告がなされた。
- ・ 84名の事前申込（学生17名、中校28名、大学関係者34名、その他5名）の参加があった。

#### 11) 各委員会における活動について（経過報告）

##### ■ 研究企画委員会

- ・ 事務局の田中先生より、英語教育セミナーの実施に関する報告があった。また、研究企画に関するアンケート（学会HPに掲載）への回答協力依頼があった。

##### ■ 学生/院生委員会

- ・ 事務局の清水遥先生より、「第1回大学生・大学院生フォーラム」の実施報告がなされた。
- ・ 参加者は概ね満足度が高かったため、来年度も継続する方向であるとの説明があった。
- ・ 関東および関西の参加率は高かったが、他の地区からの参加をより増やしたいことから、広報活動への協力依頼がなされた。
- ・ お弁当の受け渡しで時間が取られ、フォーラム自体の開催時間が短くなってしまった。時間の確保が課題であるが、徳島大会では前回どおり昼食の時間帯での実施を考えている。
- ・ 昼食の時間に2日間にわたって実施する案についての意見交換が行われた。次年度の大会では2日実施にするかどうかを委員会内で審議し、3月中に連絡することで了承された。

## ■ 財務委員会

- ・ 事務局の深澤先生より、財政健全化についての検討に関する委員会報告および提案がなされた。
- ・ 賛助会員費からの大会補助費を廃止し、それに合わせて大会運営費をある程度増額する「案1」と、賛助会員費の大会事務局への拠出割合を変更する「案2」が提示された。
- ・ 卯城会長より、賛助会員費を1社3万円にすることが提案された。値上げをする代わりにメリットとして、これまでの特典に加えて、(1) 学会ウェブサイトに賛助会員のリンクを掲載する、(2) 年に1回、メールマガジンなどを通じて、賛助会員の情報を会員に流す、(3) 賛助会員の会社とJASELEが連携をしてセミナーや研修会を行う、といった提案がなされ、了承された。
- ・ 本提案に関わる細則改定は8月の総会で承認を得ることになるが、本年4月より先行して運用することが了承された。
- ・ また最終的に、徳島大会から大会運営費を35万円と固定すること、賛助会費を1社3万円とすることで了承された。

## ■ 社会ニーズ対応推進委員会

- ・ 幹事の橋本先生より、学会員のニーズ調査、託児所、研究倫理や教員研修講師派遣、1日参加費に関する委員会内での検討事項が報告された。
- ・ 講師派遣に関しては、一定の先生に講師依頼が集中することがないように、地区ごとに講師リスト作成していく方向性で了承された。

## ■ 広報/通信委員会

- ・ 事務局の浦野先生より、各地区から以下の情報を集約し、年に数回メールマガジンを作成する案が提案され、了承された。
- (a) 年次大会の情報…発表の申込開始、およびプログラムの確定時期に情報を更新する。
  - (b) 紀要の発行情報…各地区の紀要が発行された時に通知する。
  - (c) 年次大会以外の研究会等に関する情報…他地区の会員も参加できるイベントについての情報を回す。

## 12) その他

卯城会長から以下の提案がなされた。

- ・ 「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」に関する学会アピールについて、1ヶ月程度の間各地区で意見を集約し、総会に諮ることです了承された。

- ・ 学会紀要の日本語投稿要領を主要学会で統一することが必要である。国内の三学会で投稿要領の統一案を出すことで了承された。
- ・ 全国英語教育学会において、小学校英語および特別支援の分野をより充実させていく必要があるという意見が出され、その重要性が確認された。
- ・ 小学校英語教育学会との連携を強めることへの提案があり（例：一方の学会に所属している会員は別の学会に当該学会会員と同じ参加費で参加できるようにする）、今後は小学校英語教育学会と連携を強めていくことで了承された。また、上記の両学会の大会相互乗り入れについては、早ければ今年度の大会から実現させる方向で進めることが了承された。

#### ■配布資料:

- 資料 1 出席者名簿
  - 資料 2 平成 26 年度役員一覧（案）
  - 資料 3 各地区学会情報
  - 資料 4 第 40 回徳島研究大会について [別刷資料]
  - 資料 5 平成 25 年度決算（案）
  - 資料 6 平成 26 年度予算（案）
  - 資料 7 第 41 回熊本研究大会について
  - 資料 8 全国英語教育学会第 40 回記念誌について
  - 資料 9 紀要 ARELE 25 号編集経過について
  - 資料 10 次期会長選挙に関する手続きについて（案）
  - 資料 11 各委員会における活動について [一部, 別刷資料]
  - 資料 12 「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」に関する学会アピールについて
- 参考資料 本会会則および諸規定